

一般社団法人 **日本特殊教育学会 第64回大会(2026神戸大会)**
大会通信

大会テーマ：特別支援教育のこれまでとこれから
～未来をえがく・つくる・かんがえる～

ご挨拶

日本特殊教育学会第64回大会 準備委員会
委員長 井澤 信三(兵庫教育大学)

日本特殊教育学会第64回大会は、兵庫教育大学が大会準備校となり実施することとなりました。日時は、2026年9月19日(土)～21日(月・祝日)の3日間、会場は、神戸国際会議場をメインとし、隣接する神戸商工会議所(徒歩3分程度)を併用する形となります。

今回の大会準備委員会のメンバーは、兵庫教育大学大学院特別支援教育専攻の教員が中心となっております。本専攻は、障害科学コースと発達障害支援実践コースの2つからなり、大学院にて特別支援学校教諭免許状(5領域)が取得できるようになっています。専攻のスタッフが専門とする「障害」は多様であり、かつ、研究分野の幅広さ、多彩さは強みであると思っていますので、これらのことを大会でも活かせたらと考えています。

さて、本学が本学会の大会準備委員会を担ったのは、遡ること、2007年(平成19年)9月の第45回大会となります。藤田継道先生が大会準備委員長となり、今回と同じく神戸国際会議場と神戸商工会議所にて実施しました。その大会では、2007年4月から「特殊教育」が「特別支援教育」制度に転換され、本格的に実施されたことから、いわゆる「特別支援教育元年」といわれる年度であり、大会テーマは「障害児教育の新たなステージをむかえて」でありました。

そこから「今」につながる特別支援教育の変化・変容、発展(拡大・深化)に至っています。それは、これまでの先人の努力を礎に、その時々の流れの中で多くの人が多くの人をつないできた「成果」であると思います。そして、前回の神戸での大会からちょうど20年目となるこの年に、これまでの特別支援教育を振り返り、新しい特別支援教育の「未来」を探り出す、そのような意味を込めて、大会テーマは「特別支援教育のこれまでとこれから～未来をえがく・つくる・かんがえる～」としました。大会の概要としては、例年通り、特別講演、学会企画・大会企画シンポジウム、自主シンポジウム、研究発表等を予定しています。

阪神・淡路大震災から31年がたちました。現在、三宮駅周辺の再開発がすすめられています。兵庫には「おいしいもの」がたくさんありますので、是非に楽しんでいただきたく思います。なお、大会開催日は、秋の5連休の最初の3日間となっていますので、いろいろな意味で早めの大会参加へのご予定、ご準備をお願い申し上げます。私たちスタッフ一同、気を引き締めて、有意義な大会になるよう取り組む所存です。いろいろご不便をかけることもあるかと思いますが、どうか寛容にご理解、ご対応いただければ幸いです。みなさまのご参加、ご発表を心よりお待ちしております。



大会に参加される会員の皆様へ ～必ずお読みいただき、ご確認ください～



- 大会への参加、シンポジウム・発表の申込み、参加費の納入、アクセシビリティの申込み等の締め切り期日を必ず守ってください。締切はすべて5月31日(日)です。
- 非会員は 20 歳以上とし、正会員の入会資格に準じた者とします（正会員の入会資格:原則として大学を卒業した者、本学会の趣旨に関連した実務等の経験を2年以上有している者）。
- 海外在住外国人の発表条件が改定されました。筆頭発表者の条件は ①学会の正会員であること、②学会年会費を完納していること、③大会に関連する諸費用を期限内に完納していること、①～③をすべて満たしている方となります。
- 発表論文原稿ならびに当日の発表等に際しては、倫理綱領および倫理規定の内容を確認し、厳守するようお願いいたします。倫理審査を通過しない発表等は受け付けられません。
- 発表に際しては、在席時間を厳守するようお願いいたします。
- 開催形式は<現地開催>です。シンポジウムや発表は、登壇・発表するご本人の会場での滞在が求められます。ICT 機器や WEB 等を活用した映像、遠隔での登壇・発表は認められません。
- やむを得ない事情に応じて発表を辞退する、あるいは発表者を交代する場合は、必ず事前に運営事務局に申し出て、大会(準備)委員長の承認を得てください。
- 自主シンポジウムに登壇される参加者は、大会を通じての自身の登壇回数を必ずご確認ください。
- 大会プログラムの日程・時間の変更に関するご要望につきましては、一切、受け付けることはできません。大会日程を必ずご確認くださいますようお願いいたします。
- 本学会では、障害のある参加者に向けてアクセシビリティ・サービスを実施しております。サービスのためにシンポジウムや発表における当日資料の事前提出をご依頼することがありますので、ご協力をお願いします。
- 発表論文集はオンラインプログラムにて PDF ファイルをダウンロードできます。CD-ROM が必要な方は、参加申込時に購入の申込みをしていただきます。

発表に関する条件につきまして、違反等が確認された場合は、発表等を取り消す場合もあります。会員の皆様におかれましては、ご留意いただけますようお願い申し上げます。

学会ホームページの(学術大会)に掲載されている<年次研究大会における研究発表に関する取扱い規定>を必ずご確認ください (規定が一部改定となっております)。

【日本特殊教育学会 <学術大会>ページ】



開催概要

開催日時・会場

会期：2026年9月19日(土)～9月21日(月・祝)
会場：神戸国際会議場 + 神戸商工会議所（神戸市中央区港島中町6-9-1）
◎ポートライナー「市民広場(コンベンションセンター)」駅下車すぐ。

第64回大会の日程(予定)

※ 企画段階につき、変更する可能性もあります。

日程	
9月19日(土)	編集委員会 学会・大会企画、自主シンポジウム、ポスター・口頭発表
9月20日(日)	特別講演、学会・大会企画、自主シンポジウム、ポスター・口頭発表 会員のつどい
9月21日(月・祝)	学会・大会企画、自主シンポジウム、ポスター・口頭発表

第64回大会の主な企画

(1)学会企画シンポジウム

- 講演等
- 国際講演等
- 受賞者講演

(2)大会企画

- 特別講演(シンポジウム)
「これからの共生社会の有り様を考える(仮)」
- 基調講演
「特別支援教育の未来を考える～特別支援教育×STEAM教育～(仮)」
講師予定者:宇野宏幸(兵庫教育大学)等
- 大会企画シンポジウム
「〇〇の未来を考える～これまでとこれから～(仮)」
現在、視覚障害、聴覚・言語障害、知的障害、肢体不自由、病弱、多職種連携、医療と教育、兵庫県関係、強度行動障害支援等のトピックから企画中
- 教育セッション(教育講演)
特別支援教育の歴史、インクルーシブ教育、新学習指導要領等から企画中

(3)自主シンポジウム

(4)研究発表(ポスター発表・口頭発表)

(5)会員のつどい

(7)フューチャーリサーチアワード

大学院生が筆頭となる研究発表を対象として選考を行う予定。(今年は事前申請となります)

アクセシビリティ・サービス

大会期間中、会員の様々なニーズに応えるため、障害のある方を対象にアクセシビリティ・サービスを提供いたします。詳細は大会ホームページをご覧ください。アクセシビリティ・サービスをご利用いただくにあたっては、サービス担当者の手配や配置などの準備や調整が必要となりますので、期限(5月31日(日))までに、事前のお申込をお願いいたします。

アクセシビリティ・サービスのお申し込みについては、以下の点にご留意ください。

1. 障害のあるご本人以外のお申込はお受けできません。
2. アクセシビリティ・サービスの提供は、基本的に以下の2つの場合に限定されます。
 - (1)障害のある方が自身が発表する研究発表およびシンポジウム
 - (2)障害のある方が参加を希望する研究発表およびシンポジウム
3. ご自身が発表する・しないに関わらず、大会の事前参加申込みが必要です。
4. 必ず期日までにWEBから申し込みをしてください。期限後および当日の申込みは受付いたしません。
5. 事前にお申しいただいた方には、大会プログラム公開(7月中旬予定)後に、参加を希望する研究発表、シンポジウム等について確認させていただきますが、各参加者のサービスの希望が異なるプログラムに分散する場合など、サービス希望の状況によって、サービスを提供するプログラムを限定させていただきます。

その他

- 学会参加者を保護者とする生後3ヵ月～小学校6年生までのお子さまについて託児室を設置します。準備委員会が窓口となり当日、保育士・幼稚園教諭等の有資格者が保育を行います。詳しくは大会ホームページに掲載します。
- 今大会では、旅行会社による宿泊の斡旋は行いません。

お問合せ先

参加申込み・発表申込み・原稿投稿に関するお問い合わせ

日本特殊教育学会第64回大会 運営事務局
〒650-0031 神戸市中央区東町123-1 貿易ビル4階 (株)コンファラボ内
TEL:050-5527-7192 (平日10:00-18:00、土日祝休業)
E-mail: jase.taikai@conf-lab.com

第64回大会ホームページ

<https://www.jase.jp/taikai64/>



参加申込み・発表申込み要項

大会までの主なスケジュール

期 日	内 容
4月上旬～	・大会参加申込 開始 ・ポスター発表・口頭発表・自主シンポジウム 申込および原稿投稿開始 ・大会参加費・研究発表費諸費用 納入開始
2026年5月31日(日) ※締切厳守してください。これ以降の 申し込みは一切受け付けません。	・大会参加申込(前期) 締切 ・ポスター発表・口頭発表・自主シンポジウム 原稿投稿締切 ・アクセシビリティ申込締切 ・大会参加費・研究発表費・諸費用 納入期限
2026年6月下旬(予定)	発表論文原稿の倫理審査結果、発表可否の通知
2026年7月中旬頃	大会ホームページにてプログラム公開
2026年7月31日(金)	大会参加(後期)締切
2026年8月上旬	プログラム集発送

※予定につき、変更する場合がございます。

大会参加申込み方法



- ① 大会ホームページの「参加申込」ページより受付システムにアクセスしていただき、マイページにログインしてください。今年度より学会会員システムと連携していますので、会員の方は、学会に登録しているメールアドレスでログインをしてください。非会員の方は、昨年大会や他学会で作成したA-Passアカウントをそのまま利用できます。初めてシステムにログインする方は、参加者登録(新規アカウント登録)をお済ませください。
- ② マイページの「大会情報」より、参加および発表申込みを行ってください。
- ③ 参加費および諸費用の納入を行ってください。参加費の納入をもって登録の完了となります。登録いただいたアドレス宛に確認メールが自動配信されるので、必ずご確認ください。
- ④ 発表申込みされた方は、マイページの「投稿」より論文投稿を行ってください。締切までに投稿がない場合は、取下げとみなします。

論文原稿の投稿は、自主シンポジウムは企画者が、ポスター発表・口頭発表は筆頭発表者が行ってください。

大会参加費および諸費用

大会参加費

種別	前期 (~5/31迄)	後期 (~7/31)	当日	
正会員	9,000 円	10,000 円	12,000 円	全ての企画に参加可能 ※発表論文集(PDF)あり プログラム集(冊子)あり
学生会員 (大学院生・研究生・ 専攻科)	3,000 円		5,000 円	
非会員	10,000 円	11,000 円	13,000 円	
学部生	(事前申込みなし)		2,000 円	全ての企画に参加可能 ※学部生は発表関係者にはなれません。 ※プログラム(PDF)あり ※発表論文集(PDF)あり

*学生会員は、学会の会費減額を受けている方です。

*非会員は20歳以上の方が対象です。

*学部生は当日の受付で学生証の提示が必要です。事前申込みは行いません。

*自主シンポジウムの連名登壇者、ポスター発表・口頭発表の連名発表者は、前期での参加申込み・参加費納入が必要です。

研究発表費・自主シンポジウム企画費・発表論文集

筆頭発表者および自主シンポジウム企画者は、大会参加費の他に費用が必要となります。いずれも、期限までに納入をしてください。

諸費	金額	対象者
研究発表費	5,000 円	ポスター発表・口頭発表の筆頭発表者
自主シンポジウム企画費	20,000 円	筆頭企画者
発表論文集(CD-ROM)	2,000 円	購入希望者のみ。参加登録時に申込みできます。 (学会会場でお渡しします)

申込み・納入締切とお支払い方法

前期申し込み締切・・・**2026年5月31日(日)終日**

後期申し込み締切・・・**2026年7月31日(金)終日**

- お支払いは「クレジットカード決済」「銀行振込」のいずれかを選択してください。
- 納入された諸費用の変更・返金は一切できません。
- 銀行振込は、申込みの最後に表示される指定の口座にお振込ください。申込みごとに口座番号が異なりますので、複数名での合算の振込はできません。振込手数料は各自でご負担願います。
- 大会参加費と諸経費は必ず期日までに納入してください。参加費と諸経費の領収をもって、登録完了となりますので、期日までに入金を確認できない場合は、申込みは取消となります。

研究発表(ポスター・口頭)・自主シンポジウム企画の申込み

参加申込時に、研究発表・自主シンポジウム企画の申込みを行っていない場合、論文投稿ができません。研究発表・自主シンポジウム企画の論文投稿締切は、5月31日(日)です。

自主シンポジウムは会場数に限りがあるため、ご希望に添えない場合もあります。また、予定会場数が埋まった時点で申込みを締め切らせていただきます(120枠程度を用意できる予定です)。

また、口頭発表につきましても定員がございます。発表者数が定員を超過しましたら、ポスターでの発表をしていただくこととなります。

発表形式

- 研究発表(ポスター発表・口頭発表)
- 自主シンポジウム

発表資格

- 研究発表者の筆頭発表者、自主シンポジウムの企画者・司会者は、申込締切日の時点で、日本特殊教育学会の正会員であり、学会年会費を納入済みであること。会費未納の場合は、学会の除名対象となる可能性、発表資格を失う可能性が生じます。
- 連名発表者、話題提供者・指定討論者は会員に限定しませんが、大会参加の申込みおよび諸費用の納入が必要となります。
- 現在は非学会員で発表を希望する方は、理事会で入会承認を受ける必要があります。必ず期日までに入会手続きを済ませてください。日程および手続きの詳細は学会ホームページでご確認ください。

発表条件

- 研究発表は1人1題に限ります。ただし、連名発表者(共同発表者)は、この制限の対象外です。
- 発表日の重複チェックは筆頭発表者のみを対象とします。連名発表者は重複チェックの対象外となります。
- 同一グループによる連続発表は、3題までとします。
- 連名発表者(共同発表者)は、大会不参加(名前のみ記載)の場合であっても大会参加費の事前納入が必要となります。大会参加申込みの上、期日までに大会参加費の納入を完了してください。連名取り消しの場合であっても大会参加費は返却いたしませんのでご注意ください。
- 発表日時の希望はお受けできません。



自主シンポジウムの企画者へ

自主シンポジウムの企画は1人1企画に限ります。複数の自主シンポジウムの企画はできません。

研究発表の筆頭発表者、自主シンポジウムの企画者、司会者、話題提供者、指定討論者におけるご登壇合計回数は3回までに限ります。

*登壇しない企画者(名前のみ記載)も、企画者として登録するとカウント対象となります。

*学会および大会企画シンポジウムのご登壇、筆頭以外の研究発表は、カウント対象外です。

投稿締切

5月31日(日)(厳守。これ以降は一切受け付けません。)

- 締切までに論文原稿の投稿がない場合は、取下げされたものとみなします。自主シンポジウム企画費および研究発表費は返却いたしません。
- 受付期間内は投稿内容の修正が可能です。

発表論文集原稿を作成・投稿するにあたっての注意

研究発表および自主シンポジウム(共通)

- 発表論文集は学術的文献として公表されます。内容を十分に吟味した原稿を期待します。
- 内容については、他学会等で公表していないオリジナルなものとしてください。
- 発表内容については 日本特殊教育学会の倫理綱領を遵守していることが必要です。

提出原稿は、倫理綱領並びに倫理規定を遵守しているかどうかを学会の研究倫理委員会でチェックした上で、発表の可否を判断いたします。特に下記のような倫理上の配慮や手続きが必要な研究については、発表論文集原稿の任意の箇所に、これらの配慮や手続きを行った旨を簡潔に記載してください。

- ・ 相手方の同意・協力を必要とする研究
- ・ 個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究
- ・ 生命倫理・安全対策に対する取組みを必要とする研究
- ・ 法令等に基づく手続き等を必要とする研究

また、事例等を発表する場合、本人・保護者・事例所属機関等への了解及び個人が特定されることのないよう個人情報の取扱いに十分な配慮をお願いいたします。例として、発表論文集原稿では対象者・対象機関等は仮名称(A児、B学校等)を用いる、支援や調査の期間を匿名化する(202x-1年~202x年年等)等の配慮を行ってください。提出される資料には必ず「本人あるいは保護者、所属機関等の許可を得て掲載している」旨を明記し、発表時にも許可を得ている旨を口頭でご報告ください。

- 原則として、研究の目的、方法、結果、考察、結論の各項に分けて記述してください。
- 規定外の原稿で提出された場合および期日に遅れたものについては受け付けできません。
- 投稿用テンプレート(Word用)を大会ホームページからダウンロードして原稿を作成してください。
- これ以外の規定は、学会ホームページにある「(一社)日本特殊教育学会年次研究大会における研究発表に関する取扱い規定」を参照ください。

【日本特殊教育学会<学術大会>ページ】



大会プログラム・発表論文集について

- 大会参加費には、大会プログラム(冊子)と発表論文集(PDF)が含まれています。
- 学部生には大会プログラムを PDF データで提供いたします。
- 発表論文集はオンラインプログラムにて、PDF 形式で閲覧・ダウンロードできるようにいたします。CD-ROM を希望の方は、参加申込時に購入が可能です。購入者には、会場の受付でお渡しいたします。
- 事前参加申込者には、大会プログラム集(冊子)とネームカードを事前発送いたします。